



『We♥鏡中』

令和8年7月17日

☆彡「死ぬな」「自分を大切に」「(他)人も大切に」の実践を！

学校教育目標「We love ♥ 鏡中」を目指して、今後も自分にできることをしてほしい。そのためには、「死ぬな」「自分を大切に」「(他)人も大切に」を実践することが大切だと思っています。

とにかく死ななければ、何とかリカバリーできます。命を粗末にする行動をしてはいけません。

自分を大切にするためには、楽なことだけをしていても自分を大切にはできません。自分を大切にするためにはどうしたらよいかを考えて行動してほしいと思っています。

「(他)人を大切にする」とは、殴ったりして人を傷つけないというだけでなく、自分のために、涙を流してくれる人や本気で叱ってくれる人、心配してくれる人が傷つくような言動もしないということです。行動に移す前に、一言いう前に、この言動はしていいのかと立ち止まってほしいです。

充実した夏休み、充実した中学時代にしてほしいので、何度もこのことを伝えていきます。ご家庭でも折りに触れ、保護者の皆様の思いを伝えていただければと考えています。

「みんな誰かの宝もの」であることを、お子様が心で感じることをできればと願っています。

☆彡校長からの課題「我が家の戦争の歴史を聴く」も実践を！

昨年と同じく、今年も校長から「我が家の戦争の歴史を聴く」という夏休みの課題を出しました。提出等は求めません。ですが、それぞれのご家庭の戦争の時代を生き抜いてこられた歴史は、家族でしか語り継ぐことは出来ません。

私が、38年前の初任者のころから、受け持った生徒に出している夏休みの課題です。平成21年度に担任した生徒から「父母に聞いてもわからないと言われた。祖父母も亡くなっていて我が家の戦争の歴史は聴けませんでした。」と初め言われ、語り継ぐことが大切だと切実に感じました。

今の中学生の祖父母の皆さんも戦後生まれの方が多数であると思います。だからこそ、断片的でもよいので、ご先祖がどうやって激動の時代を生き抜いてこられたのかをご家族から生徒に伝えてほしいです。

世界中で戦争の惨禍は絶えませんが、現在の平和な日本は、多くの人の犠牲があって成り立っています。何度もお伝えしていますが、平和を保つための方法論は沢山あると思います。ですが、「戦争で亡くなられた方々を忘れず、その死を悼む気持ちをもつこと」が、一番の平和の礎になると私は考えています。是非、ご協力をお願いします。

☆彡虹の松原保護対策協議会（会長 峰達郎 様）から感謝状

虹の松原保護対策協議会(会長 峰達郎 様)から、日ごろから、虹の松原の再生・保全活動に尽力しているということで、感謝状をいただきました。

感謝状を受け取る際に、「子どもたちが一生懸命に落ち枝や松ぼっくりを拾い、松葉かきは友達と力を合わせ、虹の松原を大切に思いながら活動する姿が大変印象的でした。～心から嬉しく感じております。」と連絡をいただきました。小さなことでも、できることを精一杯して、積み上げることが大切だと感じました。鏡中の生徒がこれからも、気づき・考え・行動してほしいと思っています。

